

事務事業名	施設管理事務（中村分館分）			担当	教育委員会 生涯学習課 中村分館			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-2902		
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市農村環境改善センター等の設置管理及び使用料条例、同施行規則、真岡市公民館設置条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和60 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費	7. 改善センター費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	中村農村環境改善センターは地域住民の健康増進と連帯感の醸成を目的として昭和60年に設置した。また、公民館分館を併設し、各種の講座や研修等の事業を行い多様な学習の機会を提供するとともに、生涯学習の拠点として施設の貸館を行い年間約2万人が利用している。 なお、管理の一部をシルバー人材センター及び専門業者に委託している。 施設概要：本館679.9平方メートル、多目的ホール694.8平方メートル、敷地16,551平方メートル							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 24年度実績 宿日直業務、ゴミ処理、清掃、各種設備の保守点検等の業務をシルバー人材センター及び専門業者に委託したほか、多目的ホール照明交換や避難誘導灯の修理など設備の補修を適宜実施するなど適正な維持管理に努めた。 また、貸館の実績は、本館及び多目的ホールを併せて1,241件、18,017人である。 25年度計画 前年度と同じ	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	管理業務委託件数	件	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中村農村環境改善センターの施設	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称							
	ア	本館	平方メートル	679.9	679.9	679.9	679.9	679.9
	イ	多目的ホール	平方メートル	694.8	694.8	694.8	694.8	694.8
	ウ	敷地	平方メートル	16,551	16,551	16,551	16,551	16,551
エ								
オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域における生涯学習活動の拠点を提供し、自主的な学習活動を支援する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称							
	ア	本館利用者数	人	13,843	10,293	10,121	10,998	12,000
	イ	多目的ホール利用者数	人	7,334	6,771	8,759	7,019	8,000
	ウ							
エ								
オ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 生涯学習を推進するとともに地域の連帯感の向上と交流を促進する。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	市民の本館利用率	%	121	12.5	12.3	13.5	14.8
	イ	市民の多目的ホール利用率	%	64	8.2	10.7	8.6	9.9
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	1,873	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	478	460	495	0
	一般財源	千円	9,235	10,005	10,791	10,328	0	
	事業費計(A)	千円	9,235	10,483	13,124	10,823	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	200	200	240	240	0
		人件費計(B)	千円	811	854	1,018	1,008	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,046	11,337	14,142	11,831	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	地域住民の健康増進と連帯感醸成を目的に昭和60年に開設し、同時に公民館中村分館を併設した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	施設の老朽化が顕著になっているほか、敷地内外樹木の倒木被害を防止する必要がある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域における活動拠点を提供し、自主的学習活動を支援することで生涯学習の推進を図るものである。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域における活動の拠点として適切な維持管理は市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民に対し生涯学習の機会を保障するとともに、地域の活動拠点を提供するものである。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 良好な活動拠点を提供している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域の活動拠点を提供できず、生涯学習の機会を保障できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限度の予算で維持管理している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 維持管理に要する必要最小限の人員である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 施設利用者から使用料を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							